※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「 書道Ⅱ」（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで培った技術等を発展させ、作品制作に取り組みましょう。
・さまざまな書体の変遷を知った上で、現在使っている文字の良さも体感し、生活の中に文字を活かせるようになることを目指します。
・授業では、鑑賞活動を通して制作意図の設定方法や技術を学習し、各単元・毎授業の取り組み方、作品や制作カードの提出などにより評価します。

２　学習の到達目標

書道の創造的な書活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにします。

(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにします。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	仮名の学習	・仮名の基本 変体仮名を学ぶ ・仮名の古典を学ぶ 「高野切第一種」 「寸松庵色紙」 ・仮名の書の創作	［共通事項］ a:知識「表現」 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:知識「鑑賞」 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の書の美と時代、筆者などとの関わりについて理解している。 a:技能 ・仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・小テスト ・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・観察 ・ふりかえり ・観察 ・ふりかえり
	篆書の学習	・書体の変遷 ・篆書の基本用筆 ・篆書の古典 「泰山刻石」	［共通事項］ a:知識「表現」 ・篆書を構成する様々な要素について理解している。 a:知識「鑑賞」 ・篆書の線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。 a:技能 ・篆書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b:篆書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:篆書のよさや美しさを甘受し、作品や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート ・小テスト ・ワークシート	・成果物 ・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・観察 ・観察 ・ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

二学期	篆刻の学習	・名印制作（八分印）	［共通事項］ a：知識「表現」 ・印を構成する様々な要素について理解している。 ・印の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a：知識「鑑賞」 ・印の線質、書風、構成等の要素と表現効果について理解している。 a：技能 ・意図に応じた効果的な表現の技能、書体や書風、配字等による全体の構成の技能を身に付けている。 b：書体の字形や構成について構想し工夫している。 c：印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・制作カード	・成果物（六分印）	・観察 ・ふりかえり

二学期	漢字の書	・コンクールに出品	［共通事項］ a：知識「表現」 さまざまな古典の書体や書風、字形や用筆の特徴の違いについて理解している。 a：技能 さまざまな古典の字形や用筆などの特徴を捉え、書風を生かし表わしている。 b：さまざまな古典の基本的な用筆法方を理解し、表現を工夫している。 c：さまざまな古典の美とその表現技法について関心をもち、主体的に自身の表現活動に取り組もうとしている。	・制作カード	・成果物	・観察 ・相互批評 ・ふりかえり
	隷書の学習	・隷書の基本用筆 ・隷書の古典 「曹全碑」 「居延漢簡」 ・隷書の創作	［共通事項］ a：知識「表現」 ・隷書を構成する様々な要素について理解している。 ・隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a：知識「鑑賞」 ・隷書の線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。 a：技能 ・隷書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b：隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c：隷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート ・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・観察 ・ふりかえり ・ふりかえり
三学期		・作品表具	［共通事項］ a：知識「表現」 ・表具材料の使い方や表具の効果を理解している。 a：技能 ・表具材料を正しく使用し、手際よく作品表具できる技術を身につけ表している。 c：自身の作品がよりよく見えるよう、表具 ・技術を積極的に身につけ、主体的に自身の学習活動に取り組んでいる。	・制作カード	・成果物	・観察 ・ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	・古典の書風を生かした表現を学ぶ ・紙面構成の方法を学ぶ ・創作 言葉と書の調和を考える	［共通事項］ a:知識「表現」 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な線質、字形等の要素や、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:知識「鑑賞」 ・漢字仮名交じりの書の線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解を深めている。 a:技能 ・目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、落款の位置や周囲の余白も想定した全体の構成と表現形式を意図に基づいて構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく学習活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・観察 ・ふりかえり ・観察 ・相互批評 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度